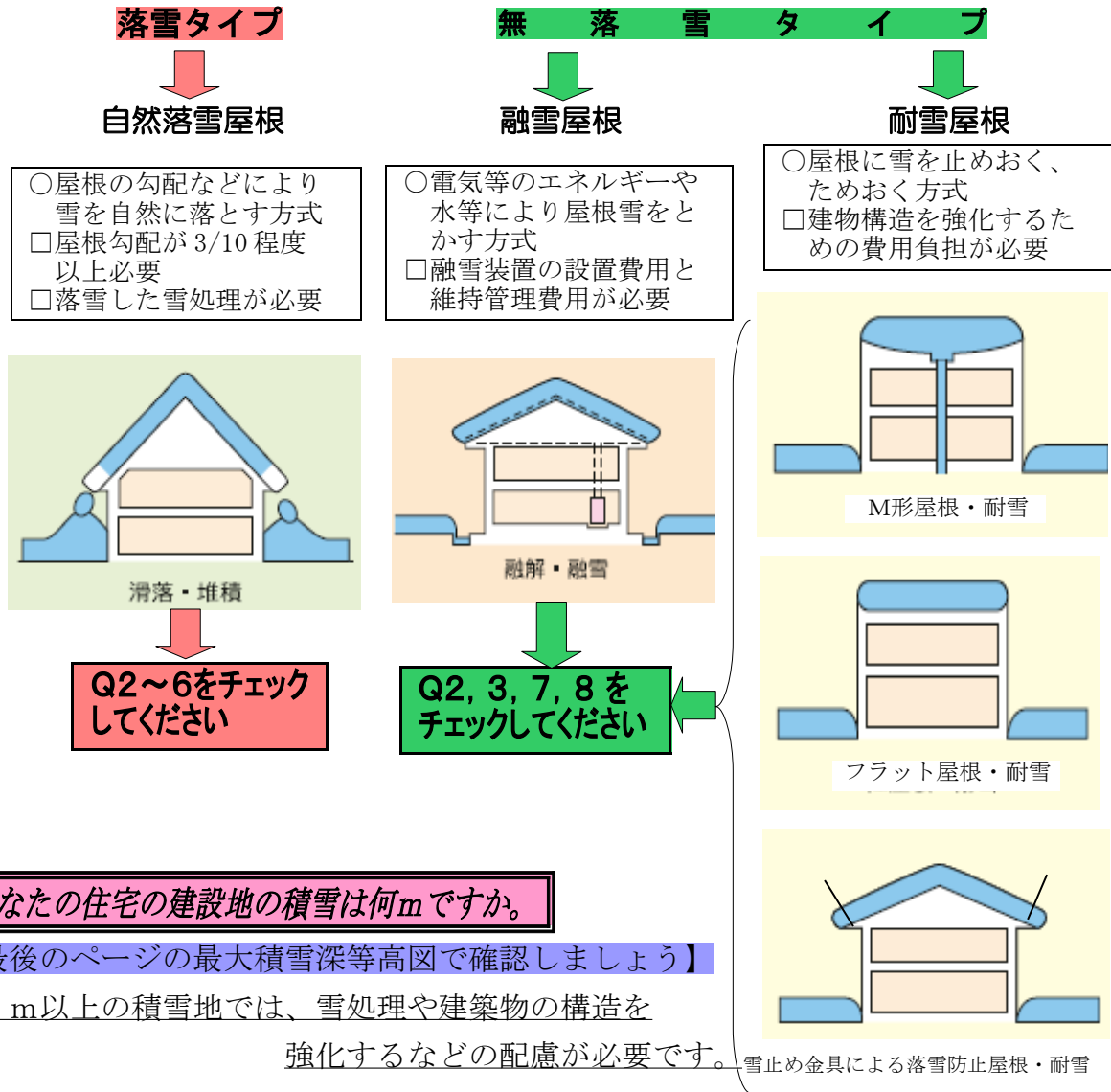


住宅の屋根雪処理チェックシート〔第6案〕

落雪タイプ・無落雪タイプ共通

Q 1 新築・改修予定の住宅の屋根に積もる雪の処理方法は、どのようにお考えですか。



あなたの住宅の建設地の積雪は何mですか。

【最後のページの最大積雪深等高図で確認しましょう】

1 m以上の積雪地では、雪処理や建築物の構造を強化するなどの配慮が必要です。

落雪タイプ・無落雪タイプ共通事項

Q 2 雪が降った場合に屋根に上れるかどうか確認しましたか。

- ①確認した [屋根に上がることが できる・できない]
- ②確認していない

⇒総二階建て住宅などのように上り口がない場合や高床式住宅のように屋根がより高い位置にある場合などは、屋根の補修などの時に特別に足場をかける必要が生じるなど、費用が余計にかかる場合があります。また、無落雪住宅でも状況によっては、雪下ろしが必要となる場合があります。

落雪タイプ・無落雪タイプ共通事項

Q3 積雪障害としてつらら・すがもれの発生等がありますが、これらを防止するための小屋裏の換気措置などについて、設計業者や建築業者から説明を受けましたか。

- ①説明を受けた ②説明を受けていない

屋根または天井の断熱材の厚さ _____ mm

天井面での気密措置 [す る・しない]

小屋裏の換気措置・天井見付面積に対する小屋裏換気孔の面積比
[面積比 _____]

その他 (_____)

すがもれの写真

落雪タイプ

Q4 屋根雪が隣地境界線を越えて落雪しないことを確かめましたか。

- ①は い ②いいえ

予測される落雪飛距離 _____ m

確かめるのに要した資料

※地方独立行政法人北海道立総合研究機構建築研究本部 北方建築総合研究所

[県の克雪住宅の手引き・各市町村の指導値・北方総研*公開ソフト・その他]

⇒落雪する飛距離がわからない場合は、設計業者や建築業者に確認しましょう。
⇒屋根雪が隣地境界線を越えて落雪する場合には、塀や柵などの設置により、屋根雪が隣地や道路に落雪することによる人身事故や器物損壊を生じさせないように配慮してください。

落雪タイプ

Q5 屋根雪の落雪防止のため、雪止め金具などは屋根に設置されていますか。

- ①は い ②いいえ

屋根の部分と箇所 [部分 _____ 箇所数 _____]

落雪タイプ

Q6 宅地内に落雪した屋根雪を堆積させるスペースはありますか。

また、住宅の出入口に屋根雪が落雪しないか確認しましたか。

- ①は い ②いいえ

⇒十分な堆積スペースがない場合、電気や地下水などによる消融雪設備の設置も有効です。または、屋根計画の見直しをしてみましょう。

無落雪タイプ

Q7 無落雪屋根の種類は、融雪式屋根と耐雪式屋根のどちらによるものですか。
また、各方式のメリットとデメリット及び維持管理の方法について、設計業者や建築業者から説明を受けましたか。

- ①説明を受けた ②説明を受けていない

1：融雪式屋根

⇒融雪装置の設置費用と維持管理費用が必要ですので、融雪装置の方式の差異について、設計業者や建築業者から十分な説明を受けてください。

- ①電熱式 ②温水式 ③ヒートパイプ式 ④温風式

2：耐雪式屋根

⇒最大積雪や想定される滑落雪量に耐えられる設計、施工となるのか、設計業者や建築業者から十分な説明を受けてください。雪の重さに耐えられる構造が必要となるため、建設費が増加します。

- ①M形屋根 ②フラット屋根 ③雪止め金具による落雪防止屋根ほか

無落雪タイプ

せっぴ

Q8 雪庇ができる可能性について、設計業者や建築業者から説明を受けましたか。

- ①説明を受けた ②説明を受けていない

⇒ 雪庇は、耐雪式屋根の風下の方で発生しやすいようです。住宅用地を購入する場合には、周辺住宅の雪庇のできる位置を確認したり、冬季の風向きを知っておくことが重要です。

なお、雪庇防止柵の設置も有効です。

また、谷のある北側の住宅の屋根形状は、雪庇やつららができやすいようです。

(注) 雪庇には「せっぴ」とふりがなをつける



打ち合わせを行った日時： 年 月 日 施主： _____

会社名： _____ 住所： _____

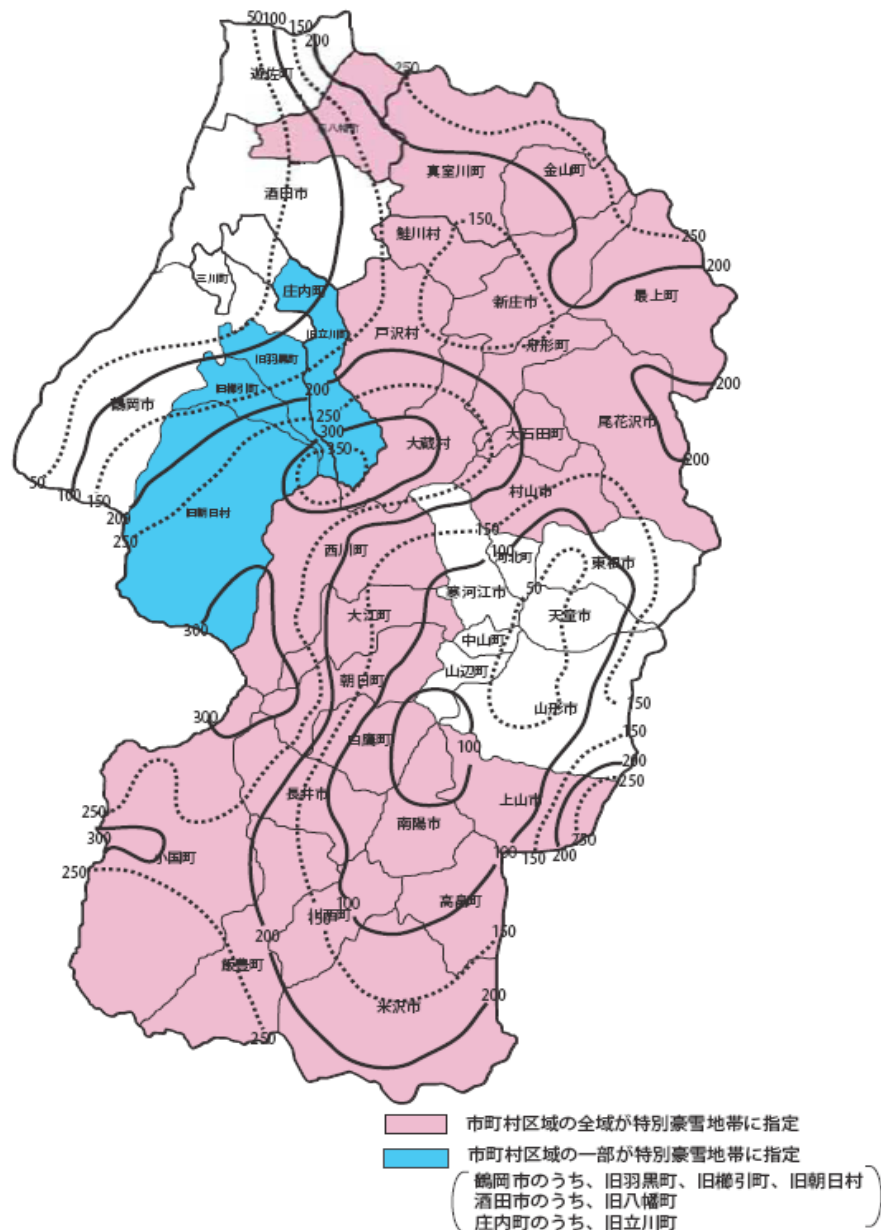
説明をした担当者： _____

本チェックシートは、住宅を新築・改修する場合に、施主さんが、屋根雪処理について自己点検したり、設計業者や建築業者と打合せする際の参考としてご活用ください。

また、やまがたゆきみらい推進機構のホームページには、当該チェックシートに関する「よくある質問と回答」を掲載しておりますのでご参照ください。

<http://yamagatayukimirai.web.fc2.com/index.html>

最大積雪深（平均）等高図



【当該シートの問い合わせ先】

やまがたゆきみらい推進機構 屋根雪処理部会
〒995-0024 山形県村山市楯岡笛田四丁目5-1
電話 0237-47-8614 / FAX 0237-55-5236
H P <http://yamagatayukimirai.web.fc2.com/index.html>